

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名：一般国道293号 <small>かめまみなみ</small> 鹿沼南バイパス		事業区分：一般国道	事業主体：栃木県								
起終点：自：栃木県鹿沼市榎木 至：栃木県上都賀郡西方町		延長：4.86km									
事業概要：一般国道293号は、茨城県日立市を起点とし、栃木県足利市に至る幹線道路である。鹿沼南バイパスは、小倉橋交差点の渋滞解消及び北関東自動車道都賀ICと県西部地域とのアクセス強化を目的とした、延長4.86kmの4車線バイパス道路である。											
H9年度事業化	S47年度都市計画決定	H9年度用地着手	H12年度工事着手								
全体事業費	72.0億円	事業進捗率	47%								
計画交通量	13,600台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.8 (残事業) 4.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 34/76億円 事業費：32/72億円 維持管理費：2/4億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 158/212億円 走行時間短縮便益：155/208億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：0/1億円								
感度分析の結果：実施していない。											
事業の効果等：円滑なモビリティの確保（小倉橋交差点における渋滞の解消） 物流効率化の支援（北関東自動車道都賀ICへのアクセス向上） 他8項目該当											
関係する地方公共団体等の意見：鹿沼市、西方町も会員である国道293号整備促進期成同盟会から早期整備の要望が出されている。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等：北関東自動車道都賀ICが平12年に開通。											
事業の進捗状況、残事業の内容等：主要渋滞ポイントであった小倉橋交差点を含む終点側の約2km区間は開通済みである。現在、起点からの残区間約3kmを事業推進中である。											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等：当初計画の平成23年度開通（暫定2車）に向けて事業推進中である。											
施設の構造や工法の変更等：特になし											
対応方針：事業継続											
対応方針決定の理由：以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。											
事業概要図											
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> <tr> <td></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>		凡例			供用中		再評価箇所		うち供用中
凡例											
	供用中										
	再評価箇所										
	うち供用中										

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。